

2025 年度 秋季

神戸松蔭大学大学院 文学研究科 修士課程

心理学専攻

入学試験問題

専門科目

注意

- (1) 合計 7 枚、6 ページ目までであることを確かめること。
- (2) 2 ページ目からの 5 枚の解答用紙それぞれに自分の受験番号と氏名を記入すること。
- (3) 問題用紙の余白を下書きに使用してよい。

以下の問1と問2を解答すること

問1 A群(1)～(2)から1問、B群(3)～(6)から2問を選び解答しなさい。

A群

- (1) 満足の遅延課題の具体例をあげながら、この課題によって測定される能力の重要性と発達について述べなさい。
- (2) 近年の脳神経科学の研究手法や研究成果は、心理学にどのような影響を及ぼしているかについて述べなさい。

B群

- (3) 心理的支援を効率的に行おうとすることの影響について、肯定的・否定的両側面から考えられることを述べなさい。
- (4) 認知行動療法による支援において強化がどのように機能するかを述べなさい。
- (5) 青年期モラトリアムの意義を、「役割実験」という用語を用いて述べなさい。
- (6) 緩和ケアの領域でチームアプローチが必要とされるのはなぜか。患者・家族のQOLという観点から具体的に述べなさい。

問2 (1)から(9)のそれぞれについて説明しなさい。

- (1) アンカリング効果
- (2) 選択比較水準
- (3) シェマ (ピアジェ)
- (4) 認知再構成法
- (5) ネガティブ・ケイパビリティ
- (6) 心理療法における多重関係
- (7) プレイセラピー
- (8) 反応決定因 (ロールシャッハ・テスト)
- (9) 血管性認知症

受験番号	
------	--

氏 名	
-----	--

問 1 このページで解答する番号を()内に入力してから解答すること。

()

受験番号	
------	--

氏 名	
-----	--

問 1 このページで解答する番号を()内に入力してから解答すること。

()

受験番号	
------	--

氏 名	
-----	--

問 1 このページで解答する番号を()内に入力してから解答すること。

()

受験番号	
------	--

氏 名	
-----	--

問 2

(1) アンカリング効果

(2) 選択比較水準

(3) シェマ (ピアジェ)

(4) 認知再構成法

(5) ネガティブ・ケイパビリティ

受験番号	
------	--

氏 名	
-----	--

(6) 心理療法における多重関係

(7) プレイセラピー

(8) 反応決定因 (ロールシャッハ・テスト)

(9) 血管性認知症